

# (別紙) ロジックモデル

解決すべき  
問題・課題

原子力利用を考えるに当たっては、原子力利用に関する透明性を確保し、国民一人一人ができる限り理解を深め、それぞれの意見を形成していくことのできる環境を整えていくこと、また、原子力の平和利用の確保と国際協力を進めていくことが必要。

上記問題・課題  
と事業との関係

原子力の研究、開発及び利用に関する取組に対する提言等の検討や、原子力に関する活動の国内外への情報発信等を着実に実施することで、国内外における原子力の研究、開発及び利用について、理解を増進する。

## アクティビティ

(事業概要)

原子力に係る政策の検討等に不可欠な国内外の関連データ・情報を、原子力委員会として広範かつ緻密に収集・分析

国際原子力機関(IAEA)総会への出席、アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の運営等を行うとともに、原子力委員等が海外出張し、情報を発信、我が国のプルトニウム保有量の集計、原子力施設主要資機材の輸出等に係る状況を調査

## インプット(予算)

【R3年度】128(単位:百万円)

## アウトプット

(活動実績)

・原子力白書の発刊  
・原子力委員会HPを活用した原子力に関する情報の公開

Webサイトを活用した、原子力委員会の音声データまたは議事録の公表件数

・IAEA総会への出席、これに付随する要人とのバイ会談  
・FNCAの運営を通じたグローバルな議論  
・我が国のプルトニウム保有量の集計結果の国内外への公表  
・原子力施設主要資機材の輸出等に係る安全配慮等状況の確認

## アウトカム

(活動実績がもたらす状況の変化、人の行動変容、その他成果)

### アウトカム

・国内外における原子力の研究、開発及び利用についての理解増進

・原子力委員会Webサイトのアクセス件数

## インパクト(社会的な影響)

国内外における原子力の平和利用が進展

事業により直接コントロールできない部分

(注1)アウトプット及びアウトカムの点線枠内には、何をもちてアウトプット及びアウトカムを測るのかを記載する。

(注2)アウトカムを定量的に測ることが困難な場合には、代替となる事項をもつてアウトカムを測ることの相当な理由も同枠内に記載する。